

外環ネット 議員学習会

市民からみた「東京外環道」 沿線7区市で何がおきているのか？

30年間凍結されていた東京外環道計画を動かしたのは、石原慎太郎都知事(当時)。大深度地下使用法によって、住民の立退きなく住宅の下にトンネルを掘ることを可能にすると豪語した。しかし、それは、住民の地権者としての権利を奪うことだった。20年後、調布でトンネル掘削による陥没事故が起き、30～40軒の家が急な立退きを迫られている。この夏には地盤補修工事が始まる。まち壊しが進み、周辺への建物被害・健康被害等への補償はない。東京地裁の中止命令で調布にある2台の本線シールドマシンは止まっているが、中央JCT北側2台と大泉JCTのランプトンネルは掘削完了、大泉JCTからの本線トンネル2本と東名JCTのランプトンネルは稼働中。大きな事故を起こしても工事は粛々と進められている

東京外環道の現状を、計画の概要と経緯と今後について等、沿線7区市の各地からご報告します。

場所

武蔵野公会堂第2会議室

武蔵野市市吉祥寺南町1丁目6-22 吉祥寺駅南口徒歩2分

日時

2023年7月28日(金)

14時～16時30分

資料代

2,000円(書籍「住宅の真下に巨大トンネルはいらない」含む)

会費は事前にお振り込みください。

振込口座: ゆうちょ銀行 〇〇八(ゼロゼロハチ)支店

普通預金 7184574 「外環ネット」



「住宅の真下に巨大トンネルはいらない」あけび書房より

主催
問合せ

外環ネット

Mail : info-gaikannet@gaikan.net

Tel : 070-8566-1393

http://gaikan.net

参加申込

<https://forms.gle/2jrrQ7LwujbbV8ii6>

